



視野を広げよう、理解を深めよう

理工学部長 松元明弘

新入生の皆さん、東洋大学への入学、おめでとうございます。そして川越キャンパスの理工学部によるこそ！東洋大学の一員となりましたので、これから、伝統ある東洋大学のことをいろいろと知ってください。東洋大学には、大学スポーツでいろいろと活躍している先輩・卒業生がいますし、教員にはさまざまな分野の専門家がいますし、また職員は皆さんの勉学や学生生活のサポートをしてくれます。大学に進学することで環境が変わりますので、これを機にいろいろなことを考え、いろいろなことを体験して、「学びの旅」を楽しんでもらいたいと思います。大学生生活を豊かにし、新たな知識を得て、卒業して社会に羽ばたくために、自分は何をすべきなのか、各自「哲学」してみてください。教職員はそのための最大限のサポートをします。

皆さんの高校生活は新型コロナの感染拡大と重なってしまい、授業のみならず、クラブ活動、修学旅行、文化祭など、いろいろな行事が制約を受けて、大変な思いをしたことでしょうか。皆さんの高校生活の3年間は、人類にとって未曾有の状況であり、未知なるものに対する対処の仕方に右往左往した3年間とちょうど重なってしまいました。しかしながらこのような状況にあって、皆さんはそれぞれの形で取り組んできたはずで、失ったものもありますが、一方でこれまでの高校生が体験しなかったような、新たに得たこともたくさんあるはずです。オンライン授業を受けるための技術を覚えてきましたし、SNSやホームページによる情報発信についても学んできたはずで、これを機会に得た知識や経験は、今後、必ず役立つはずです。

また、世の中のメディアや報道が、必ずしも真実を伝えていないという事実にも気づいているはずです。世の中には、立場の違いにより、意見や見解の相違があります。常識を覆すような新たな科学的発見もありますし、歴史の常識を覆すような新たな発見すらあります。これまでの常識が今後も常識であり続けるかどうかはわかりません。インターネットの発展により、世界の状況がリアルタイムにわかる時代になってきました。これからの社会では、それなりの常識を獲得することも必要ですし、一方で、それまでに得た常識の妥当さを再検討せねばならないことも起こりえます。何が正しくて何が間違っているのかを、自分の基準で判断せねばなりません。さて、その基準をどうやって獲得したらよいでしょうか。

高校までの学びと異なり、大学での学びは、自発的かつ計画的なものになってほしいと思います。自分の尺度に合うもの、自分の好きなものだけで生活しては、成長は得られません。意識して積極的に、別の価値基準を持つ世界に飛び込んで、新たな「ものの見方」を獲得してほしいと思います。例えば異文化理解です。異なる文化的・歴史的背景を持つ外国の人や、別分野の人とコミュニケーションをとり、お互いの良さを認識することで、皆さんの価値判断基準を大きく広げることができます。相互理解のためには必ず摩擦もありますが、それを含めて異文化理解です。理系の学生であっても、こういった異文化理解の素養が求められる時代です。

さて入学して最初につぶかる問題は、入学直後の様々な手続きでしょう。学習面では、自分の学科にはどんな開講科目があるか、どの科目をいつ選択したらよいか、その履修登録をどのように行うかは、全員が直面する共通の問題です。また授業の部屋はどこか、実験室はどこか、食堂はどこか、学習支援の相談窓口はどこかなど、学内のどこに何があるかを把握するのは大変な作業でしょう。友達作りも大問題でしょう。さらに、一人暮らしを始める学生は、アパートの契約、銀行口座の開設やクレジットカードの入手など、様々な手続きをすることになります。ですが、これらは皆が経験し乗り越えてきた問題ですので、皆さんにも乗り越えることができます。家族・友人・大学スタッフなど、周囲に助言を求めながら、問題を乗り越えてください。

皆さんが豊かな大学生生活を送ることを期待します。